

発展するブラジル経済実感 県人会創立60周年で植樹や式典

ブラジル県人会が創立60周年を迎え、鳥取県からも訪問団を送ることに成り、伊藤議長、横山議員、藤井副知事、県教委の生田次長と昨年11月15日から25日まで訪伯致しました。

県人会は昭和27年の鳥取大火に際し、義捐金を送ろうと結成され、現在の貨幣価値で約5千万円を贈られました。その御恩を忘れなため、また、ブラジル移民は県事業として実施されたことから、県議会は交流を重視し、何度も訪問団を

派遣しています。

関空から空路で約30時間。サンパウロでは、イビラプエラ公園にある日本移民先没者慰霊碑への献花から日程を開始しました。

県人会創立60周年記念事業として、州立森林公園にマタ・アトランティアと呼ばれる原生林の6種300本を植樹し、「サンパウロ鳥取友好の森」を新設しました。国や州の政府がマタ・アトランティアの保全と回復に努力され、移民が切り開いた森林でもあることから

ら、マタ・アトランティアの木に決めたそうです。県人会では鳥大や県林業試験場にも相談し、3年かけて準備されたそうです。

創立記念式典はブラジル鳥取交流センターで開催されました。功労者の表彰などがあり、多くの県人会員が集まって祝いました。傘踊りや銭太鼓の披露もあり、郷土への思いの強さを感じました。

さらに、空路と陸路で5時間をかけ、第二リアンサ鳥取村へも参りました。



サンパウロ・鳥取友好の森に植樹しました。



県人会創立60周年記念式典の鏡開き。右から本橋県人会会長、福嶋総領事、生田県教委次長、伊藤県議会議員、私



鳥取村では子どもたちと「ふるさと」を歌いました

編集後記

明けましておめでとございます。公選法で年賀状の投函が禁止されており、このような形で挨拶致しますことをお詫び申し上げます。おかげ様で、県議になって2回目の正月を無事に迎えることができました。議会内外に人間関係を広げつつ、議事のルールにも慣れ、これから

仕事をするぞという時だっただけに長谷川議員の会派離脱が悔やまれてなりません。県民の皆様は、今年も全力を尽くします。引き続き、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。冬將軍も到来しました。風邪など召しませぬようご自愛專一に願います。

県が大正15年に3千万町歩を購入し、移民を送り出した所で、今でも日本語教員を派遣するなど県が地域を支えています。村民総出の歓迎を受け、ホームステイもさせて頂きました。

展するブラジル経済を支えているのが日系人と日系企業です。具体的なビジネス案など交流の未来が拓けるようなお話をいくつも聞かせていただき、有意義な訪問になりました。

県人会や県費留学生、総領事らと意見交換も重ねましたが、ブラジルは地下資源と農林水産物に恵まれ、2年後にはサッカーワールドカップ、4年後には五輪が予定され、競技場や高速鉄道も計画されており、「黄金の10年」を迎えると期待されています。そして、発

砂場隆浩県政ひろば
 〒680-0023 鳥取市片原1丁目107
 TEL 0857-50-0130 / FAX 50-0641
 tottori-kodomo@olive.plala.or.jp
 県政へのご意見・ご不満をお寄せ下さい
 この紙面記載の記事は、下記のHPで詳しくご覧いただけます
<http://www.tottori-kodomo.jp>